ルワンダ月報（２０２３年１０月）

※以下は、明示的に記載されたものを除き、ルワンダ通信局（Rwanda News Agency）の記事のとりまとめ。

１．内政・外政

- １日、ビルタ外務・国際協力大臣は、「アジェンダ 2063 の実施の加速化」がテーマのアフリカ連合執行理事会会合に出席。
- ２日、ビルタ外務・国際協力大臣とモーリシャスのゴビン法務長官兼外務・地域統合・国際貿易大臣は、両国の ICT に関する覚書及び二国間一般協力協定を締結。
- ２日、ンギレンテ首相はカタールを公式訪問し、国際園芸博覧会 2023 の開会式に出席。当博覧会は、近代農業、技術と革新、環境、持続可能性がテーマ。
- ４日、ブリュッセル裁判所は、1994 年ジェノサイド実行犯と推定されるバサボセ氏とトワヒルワ氏２名の裁判手続きを開始。
- ５日、ンダギジマナ財務・経済計画大臣と福島駐ルワンダ日本国大使は、キガリ市の高度交通システム事業のため 20 億 900 万円（約 1460 万米ドル）の無償資金協力に関する交換公文に署名。
- ５日、ビルタ外務・国際協力大臣は、ブラジル連邦共和国を両国間初となるハイレベル公式訪問を行い、二国間協力強化、貿易促進に関し協議。またヴィエイラ外務大臣と、受刑者の移送及び、外交パスポート所持者の査証免除に関する２つの覚書に署名。
- １２日、カガメ大統領は、来訪したグァンモ会長兼 CEO 率いる LG 社の代表団と教育、技術開発、一般家電のルワンダでのビジネスについて協議。
- １２日、ビルタ外務・国際協力大臣は、ジャツミコ・ルワンダ兼轄インドネシア大使の表敬を受け、両国関係の強化について協議。２０２３年３月、ルワンダはジャカルタに大使館を開設することを発表。
- ルワンダ宇宙庁（RSA）と STAR.VISION エアロスペースリミテッド（STAR.VISION）は、ルワンダ人学生によって作成された人工知能（AI）アルゴリズムを８月に打ち上げられた中国の WonderJourney-1A（WJ-1A）衛星に組み込む協力を実施。RSA と STAR.VISION は、宇宙技術開発を目的に、３月に覚書を締結。（１２日付け、The New Times）
- １６日、カガメ大統領は、ガボン暫定政府のヌゲマ将軍を表敬訪問し、ガボンで進行中の移行プロセス、アフリカ大陸と中央アフリカ地域（ECCAS）の安全保障問題、二国間の協力関係の発展について協議。

- 「ルワンダ、ジェノサイドを追って」と題された本が９月 21 日にフランスで出版された。 この本は、1994 年のジェノサイドにて罪を犯したルワンダ人をフランス国内で追及する際に、ゴーティエ夫妻が果たした役割について書かれたもの。（１６日付け）
- １７日、ロシアとルワンダは、両国間の外交関係樹立 60 周年を記念して、祝賀メッセージを交換。ルワンダ外務・国際協力省は、「ルワンダは、相互尊重と理解に基づくロシアとの良好な二国間関係を賞賛する」と述べた。
- １７日、Mobile World Congress キガリ 2023 の開会式にカガメ大統領が出席。本件会合には、エチオピア・テレコム、ファーウェイ、MTN グループ、国際電気通信連合（ITU）などが参加。
- １８日、イタリアで開催中の世界食糧フォーラムのハンド・イン・ハンド投資フォーラムで、ムサフィリ農業・動物資源大臣はルワンダのための５億 180 万ドルの投資計画を発表。
- １９日、中国企業チャイナ・スター・コンストラクションが、キガリの上下水道中央研究機関と上下水道運営研修センター建設事業を 820 万ドルで落札。当事業はアフリカ開発銀行、欧州投資銀行、ルワンダ政府が資金提供し、総事業費は２億 1200 万ドル。（Africa Intelligence）
- １９日、ルワンダ政府はヨルダン・ハシェミット慈善団体（JHCO）に、10 トンの栄養強化シリアルをパレスチナ支援として輸送。
- ２０日、内閣は、ルワンダ政府と１５カ国との間で締結された二国間航空協定の批准を承認する法律案を採択。
- 在ルワンダ中国大使館の Imbuto 財団を通じた恵まれない優秀な学生への奨学金プログラムが 10 周年を迎えた。当プログラムは、ファーストレディによって開始され、中国大使館は２０１３年から支援を開始し、現在までに合計 531 人の学生を支援し、そのうち 386 人が無事卒業、145 人が現在支援を受けている。（２０日付け）
- ２３日、２０２３年平和維持閣僚会議の準備会議がインドネシア、オランダ、ルワンダ、英国の共催でキガリにて開催。
- ２３日、コンゴ（民）国境近くの西部州ルバブにて武装勢力間衝突の流れ弾により、市民１名が負傷。
- ２４日、カガメ大統領は、サウジアラビアで開催されている第７回未来投資イニシアチブに出席。毎年開催されるこのイベントは、サウジアラビアの大企業や 7,780 億ドルの政府系ファンドとの関係構築の機会となっている。
- ２５日、ワールド・ジャスティス・プロジェクトが発表した指標によると、ルワンダはサブサハラ・アフリカ地域 34 か国中、法治国家としての評価において３年連続１位となった。（The New Times）

- ２６日、ルワンダとポーランドは、ポーランド開発銀行（BGK）のソブリン融資を通じて、酪農セクター支援の 2300 万ユーロの融資契約に署名。
- ２７日、グローバルゲートウェイ・フォーラム（欧州連合（EU）及び欧州の開発金融機関による協力的取組）にて、トワギラエズ教育大臣はウルピライネン国際パートナーシップ担当委員と、幼児教育への 5000 万ユーロ相当の協定に署名。
- ２８日、ルワンダ・ポリテクニックと中国の専門学校２校の間で、今後の協力関係構築を目的とした文書が署名された。この協力は、アフリカと中国の教育機関が、教育開発において協力関係を築くため中国政府が設立した中国アフリカ職業教育同盟（CAVEA）の活動の一環。（The New Times）
- ２９日、陸軍総司令官ムガンガ中将は、北京にて中国共産党中央軍事委員会（CMC）統合参謀部主任の劉将軍と既存の協力関係強化に関して協議。

２．開発協力

- ９月２９日、アビジャンで開催されたアフリカ開発銀行グループの理事会は、キガリに新しい航空訓練センターの建設と設備を支援するための 2360 万米ドルの融資を承認。（２４日付け）
- １０日、ファーウェイ・テクノロジーズ（ルワンダ）社は、ルワンダ TVET 委員会と協力し、１１０人の TVET 教師を対象とした技術トレーナー訓練プログラムが成功裏に終了したことを発表。（The New Times）
- １５日、国際連合食糧農業機関（FAO）は農村漁村居住の女性のための国際デーに際し、ギクンビ郡にて水タンク 100 個を寄付。（The New Times）
- １６日、国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）と世界食糧計画（WFP）は、難民支援のための資金難から、ルワンダ内の難民に対する支援の量と内容を大幅に削減。
- １７日、大手通信業者エアテルとユニセフ、ルワンダ教育省は２０の学校にデジタル学習のアクセスを可能にする高速インターネット接続設置を実施。
- ２０日、世界銀行理事会は、ボルケーノ・コミュニティ・レジリエンス・プロジェクト（VCRP）への 5000 万米ドル融資を承認。当プロジェクトは、ルワンダ政府が洪水リスクを軽減し、流域管理を強化し、プロジェクト地域の人々の生活を改善することを目的とする。（２０日付け）
- ２４日、２０１６年リオ・オリンピック陸上 400m リレー銀メダリストの飯塚氏が、「スポーツ・フォー・オール」目標のためルワンダを訪問し、合同陸上トレーニングや学校での体育の対話セッションなどを実施。
- ２４日、緑の気候基金は、アフリカ開発銀行を通じて、グリーン投資ファシ

リティであるイレメ・インベストに 4280 万ドルの追加資金を供与。また、気候変動に対するコミュニティのレジリエンスを構築するプロジェクト実施のため、環境省に 3900 万ドルの無償資金を提供。(The New Times)

- ３０日、フランス開発庁は、ルヘンギリ病院支援に 7500 万ユーロと農村１６地区のインフラ整備のための 1600 万ユーロの融資に署名。
- ３０日、ンギレンヘ首相は中国サイバースペース管理局大臣の表敬を受け、ICT における二国間協力に関して協議。(The New Times)
- ３１日、欧州連合（EU）とルワンダ政府は、食糧不安への取組として１億ユーロを超える１４のプロジェクトを組み合わせた新しいイニシアチブを開始。

３．経済

- ３日、ルワンダ公益事業規制庁（RURA）は、世界の石油価格高騰を理由に、燃料価格の値上げを発表。
- メタンガスを電力に変換するシェマ・パワー・キブ湖発電所は、4000 億ルワンダフランの費用で設立され 37.5MGW の電力を供給しているところ、ルワンダ政府との協定に基づき、2024 年には 56MGW まで生産量を増やし、ルワンダのエネルギー自給率を高めることを目的とする。（１１日付け）
- １９日、MTN ルワンダセル PLC（MTN ルワンダ）は、キガリで開催されたモバイルワールドコングレス（MWC）アフリカで、国内初のライブ５G ネットワーク技術のデモンストレーションを展示。
- ３１日、トゥサベ財務省国庫担当大臣及びルワンダ国立銀行のルワゴンブワ総裁が国際通貨基金（IMF）チームミッションと会談を行い、ルワンダは２億 6200 万ドルをスタンドバイ信用枠から利用可能となった。

以上